

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 115

学校名・団体名	佐世保市立早岐中学校
HPアドレス	http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-haiki/asp/default.asp
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	未来へつなぐエネルギー教育の実践
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>世界のエネルギー事情や環境問題、そして日本のエネルギー自給率等を鑑みると「ESD」を取り入れた学習が必要不可欠である。本校は大規模校であるが、ハウステンボスをはじめ周囲に教材資源となりうる施設や大学等に恵まれている。そこで、エネルギーや地球環境の現状を正確に理解し、未来のために実践していこうとする意欲と態度を養う。</p>	

1 目的

世界や我が国のエネルギー事情や環境問題を鑑みると「ESD」を取り入れた学習が必要不可欠である。本校は大規模校であるが、教材資源となりうる施設や大学等が周囲にあり恵まれている。そこで、エネルギーや地球環境の現状を正確に理解し、未来のために実践していこうとする意欲と態度を養うことを目的として、下記のような取組を行っている。

長崎大学や佐世保高専による出前授業や、市クリーンセンター見学などを実施し、他教科や生徒会・PTAとの連携・教職員のエコ活動など学校全体の取組へと広げてきた。平成28年度には、それまでの取組を継続しながらさらに充実させ、「佐世保市学校版環境ISO」を取得することができた。



2 活動期間

平成26年4月1日 ~ 平成30年3月31日

3 年間の実践内容

(1) オリエンテーション

… 年度はじめに体育館でエネルギー教育の目的や活動内容などについて説明。また、職員会議で教職員にも説明し、職員室内のエコ活動を促した。



(2) 理科、技術・家庭科、社会科の授業実践

… エネルギーに関連する学習内容を扱う際に、本校におけるエネルギー教育との関連付けを重視しながら学習活動を展開した。

(3) 外部講師による出前授業

… 佐世保高専の出前授業、トヨタカローラ大塔店の授業協力「電気自動車・ハイブリッドカーのしくみ」、市少年科学館「エネルギーに関するおもしろ実験教室」見学を実施。



(4) 節電・節水ポスター

… 生徒会の生活委員会が中心となって、節電・節水のミニポスターを作成し、電灯のスイッチや蛇口の近くに掲示して、全校生徒に啓発した。

(5) ゴミゼロ作戦（リサイクル活動）

… 生徒会の美化委員会が中心となって、朝の登校時にゴミ拾いを行い、生徒玄関で分別回収する活動を学年ごとに行った。



(6) PTA との連携

… ペットボトルキャップを回収し、イオン大塔店へ寄付した。この寄付によってポリオワクチンを発展途上国に寄付できるとともに、各家庭での分別回収を促した。

(7) 特別支援学級のグリーンカーテンづくり

… 教室の窓辺でゴーヤを栽培し、室内の気温の上昇を抑えた。



理科通信

長崎大学教育学部の藤本先生による出前授業を実施しました！

11月17日(木)に下表のように2クラスずつ「エネルギーを生産-自由なりの社会貢献-」をテーマにした出張授業を実施しました。藤本先生のご来校により、3校の理科講師を指導して、生徒が授業を行いました。当日は1日授業の授業もあり、1、2校の理科の授業を行いました。授業の様子を写真で紹介します。事前学習として理科の授業ではエネルギー-発展の基礎を学習し、出張授業では実験や観察を通して理科の授業を行いました。出張授業ではエネルギー-発展の基礎を学習し、出張授業では実験や観察を通して理科の授業を行いました。出張授業ではエネルギー-発展の基礎を学習し、出張授業では実験や観察を通して理科の授業を行いました。

佐世保市西部・東部クリーンセンターへ施設見学に行きました！

11月17日(木)に当校中学部と小学部に分けて見学しました。見学目的は、エネルギー-発展の基礎を学習し、出張授業では実験や観察を通して理科の授業を行いました。出張授業ではエネルギー-発展の基礎を学習し、出張授業では実験や観察を通して理科の授業を行いました。出張授業ではエネルギー-発展の基礎を学習し、出張授業では実験や観察を通して理科の授業を行いました。

市役所環境保全課と連携して、市の東部クリーンセンター見学と、少年科学館「星きらり」での実験教室及びプラネタリウム見学を実施した。なお、東部クリーンセンターでは排熱を利用して発電と給湯利用を行っている。

「佐世保市学校版環境 ISO」の取得

平成29年2月14日に認定を受けた。

(8) 花いっぱい運動

… 学校管理員や生徒会と連携し、生徒玄関や校舎の周辺に花を植えた。景観を向上させるだけでなく、二酸化炭素が削減できることを体験的に理解させた。

(9) 理科通信の作成・配付、学校ホームページへの掲載

… エネルギー教育担当が理科通信を作成・配付し、活動の様子や成果などを保護者に伝えるとともに、家庭での協力を啓発した。学校ホームページにも掲載し、地域等にも情報発信を行った。



(10) 市の施設との連携

… 市役所環境保全課と連携して、市の東部クリーンセンター見学と、少年科学館「星きらり」での実験教室及びプラネタリウム見学を実施した。なお、東部クリーンセンターでは排熱を利用して発電と給湯利用を行っている。



(11) 「佐世保市学校版環境 ISO」の取得

… 平成29年2月14日に認定を受けた。

4 成果と課題

右の表は、平成25～28年度の電気代・水道代の推移である。学校全体の使用量は生徒数によって変動するため、生徒一人当たりの使用量が成果の指標となり得ると考えられる。少しずつではあるが、年度を重ねるごとに成果が表れている。

年度	全校生徒数	電気			水道		
		使用量[kWh]	電気代[円]	生徒1名あたり	使用量[L]	水道代[円]	生徒1名あたり
平成25年度	764名	188,923 kWh	382万2054円	247,28k Wh	5,382L	162万2318円	7.04L
平成26年度	740名	183,382 kWh	409万3329円	240,03k Wh	4,197L	144万4772円	5.49L
平成27年度	730名	182,967 kWh	399万4714円	239,49k Wh	4,998L	164万5810円	6.54L
平成28年度(1月末)	680名	160,190 kWh	325万0874円	235,57k Wh	4,078L	126万0184円	6.0L

平成28年度末に市学校版環境 ISO を取得できたことで、生徒たちがこれまでの取組への充実感を得ることができた。これからの未来を担う子どもたちにとって、エネルギー教育は必要不可欠である。また、本県では島地区の学校で ESD 教育も推進している。今後は家庭や地域への情報発信と、より連携を深めた活動を展開したい。日本科学技術振興財団の助成がなくなるので、市の特色ある学校づくり推進事業として、今後も継続して取り組んでいきたいと考えている。

市内に佐世保高専やハウステンボスもあり、また、校区内にも多くの事業所があるので、出前授業やゲストティーチャー、施設見学等の連携が考えられる。また、理科通信を学校ホームページに掲載しているが、加えて地区の回覧板等で回覧していただくよう地区の自治会をお願いしてみたいと考えている。